

(計画名)	京都地区近郊整備区域建設計画
(策定主体)	京 都 府
(地域の課題)	
<p>○ 本区域は、京都市北西部の亀岡盆地を中心とする南丹地域、京都市の既成市街地の周囲に広がる京都・乙訓地域及びその南側の宇治川以南の南山城地域の<u>三地域に大別され、京阪神大都市地域への通勤・通学圏</u>となっている。</p> <p>○ 人口、産業、都市機能の集積が高く、高速道路網をはじめとする<u>交通基盤の整備に伴って、産業活力の向上が望まれている。</u></p> <p>○ 「関西文化学術研究都市」を擁するなど、近畿圏における文化、学術及び研究の中核的な機能を担っており、<u>文化・学術・研究の新しい拠点として着実に整備を進める必要がある。</u></p>	
(計画の概要)	
<p>(1) 第二名神高速道路等の広域交通ネットワークの整備・充実</p>	
<p>・ <u>国際的な文化・学術の中心地である京都市域や、大阪湾臨海地域等との連携の強化を図るため、京都縦貫自動車道、第二名神高速道路、京都高速道路等の幹線道路整備やJ R山陰本線等の複線化・輸送力増強を推進する。</u></p>	
<p>(2) 「関西文化学術研究都市」の建設促進</p>	
<p>・ <u>国際的な学術研究と産業、文化、生活が調和・融合する「国際創造都市」を目指し、国立国会図書館関西館、「私のしごと館」等の中核的な文化学術研究施設の整備を促進し、これを活用するとともに、次世代情報通信網や快適で良好な生活環境、都市基盤施設の一層の整備を図ることにより、国際化・情報化・高齢化・技術革新、多様な生活ニーズ等に対応した未来を拓く知の創造都市にふさわしいまちづくりを推進する。</u></p>	
<p>(3) 関西文化学術研究都市の諸機能と有機的な連携を踏まえた地域整備の推進</p>	
<p>・ <u>木津川右岸地域において、第二名神高速道路の整備と連携し、関西文化学術研究都市と相互に機能を補完し合う産業、住宅、レクリエーション等の機能を有する都市圏の形成を推進する。</u></p>	
<p>(4) 地域の豊かな自然環境や地域文化を活用した地域の活性化・産業振興</p>	
<p>・ <u>都市近郊の利点を活かした農林業振興を図る中で、地域の豊かな自然環境や地域文化を活用した広域的な都市農村交流活動の促進を図る。</u></p>	